

なかのZERO新春能

くらまてんぐ

鞍馬天狗

素謡 神歌 小島英明

狂言 茸 野村萬齋

能 鞍馬天狗 小島英明

SHINSHUN NOH 2023



能『鞍馬天狗』(撮影:駒井社介)



狂言『茸』(撮影:政川慎治)

2023 **1.21** 土 14:00開演(13:15開場)

なかのZERO 大ホール

料金 (全席指定・税込) 1階席 5,600円(ホールメイト会員5,100円) 小中学生 4,600円
2階席 3,600円(ホールメイト会員3,300円) 小中学生 2,600円 ※未就学児入場不可

発売日 一般発売日 9月26日(月)10:00~
ホールメイト会員優先日 9月25日(日)10:00~
中野区民優先日 9月25日(日)13:00~
※優先日は「なかのZEROチケットセンター」で予約受付のみ。
(ホールメイト会員は電話・オンライン予約、中野区民は電話予約のみ。)

チケット取り扱い なかのZEROチケットセンター 03-3382-9990 (10:00~19:00)

オンライン <https://nicesacademia.jp/>
チケットぴあ(一般発売日以降) <https://pia.jp/>
イープラス(一般発売日以降) <https://eplus.jp/>
※ご予約・ご購入後のキャンセル・変更等はできませんのでご了承ください。
※車椅子のお客様はなかのZEROチケットセンターへお問い合わせください。



文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業
(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)

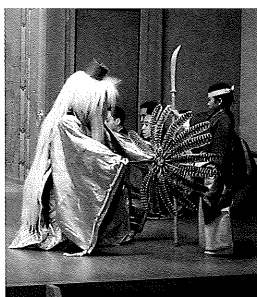
※当公演は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、客席は間隔を空けず実施いたします。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下を必ずご確認ください。
◆発熱など体調がすぐれない方はご来場をお控えください。◆咳エチケット、手洗い・手指の消毒の徹底をお願いします。◆入場の際の検温で37.5度以上の発熱がある方、マスクの着用がない方のご入場はご遠慮いただきます。◆整列や入退場の際には、前後の間隔をできるだけあけてください。
◆出演者へのプレゼント、差し入れはご遠慮ください。◆過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある場合はご来場をお控えください。◆感染者が発生した場合、必要に応じて緊急連絡先を保健所等の公的機関へ提供する場合があることをご了承ください。

鞍馬天狗

くらまてんぐ



狂言『茸』(撮影:政川慎治)



能『鞍馬天狗』(撮影:駒井杜介)

あらすじ

素謡「神歌」かみうた
神聖な儀式曲「翁(おきな)」を素謡の形式で上演する場合は「神歌」という。千歳は露払いとして颯爽と謡い、翁は天下泰平・国土安穩を祈禱し、新春を寿ぐ。

狂言「茸」くさびら

屋敷中に茸が生えて困っているという男に、茸退治を頼まれた山伏。もったいをつけつつ男の家に行くが、人ほどもある大きな茸にびっくり仰天! さっそく祈禱を始めるのだが、祈れば祈るほど茸は減るどころかますます増え、山伏や男にいたづらをするもどまで現れる。山伏は最後の気力を振り絞って祈るのだが:
笠をかぶり面をつけたカラフルな茸たちが、舞台上を所狭しと動き回ります。海外でも上演されることの多い、荒唐無稽な狂言の代表作です。

能『鞍馬天狗』くらまてんぐ
春爛漫の鞍馬山。西谷の能力(ナイ)より花見への招きの文を受けた東谷の僧(ワキ)が、大勢の稚児(子方)を伴い、西谷の桜見物に出かける。そこへ見慣れぬ山伏(前シテ)が来て、どっかりと座り込む。興ざめした行は帰ってしまうが、ただ一人残る稚児がいた。これこそ、後の源義経・遮那王(牛若丸)子方であった。遮那王は山伏に声をかけ、一緒に花見をしようとする。平家一門の稚児達に囲まれている我が身の孤独を嘆く。その境遇に同情し心惹かれた山伏は、花の名所を案内してまわる。遮那王が名を尋ねると、山伏はこの山に住む大天狗であると名乗り、平家を滅ぼすべく兵法を授けようとする。と明日の再会を約して飛び去る。【中人】

翌日、長刀を手にした遮那王の前に、全国の名だたる天狗達を引き連れ、大天狗(後シテ)が現れる。大天狗は、漢の高祖の臣下・張良の故事を引き、師匠に教える。仰ぐ者の心得を語って聞かせ、続いて兵法の奥義を授ける。そして、この後は遮那王の影となつて御身を離れず武運長久の守護を誓うと、名残を惜しみつつ鞍馬山へ姿を消すのであった。

素謡 神歌

翁 小島英明
千歳 中森健之介
地謡 奥川恒治
遠藤喜久
永島 充
奥川恒成

見どころ解説

小島英明

狂言 茸

シテ(山伏) 野村 萬 斎
アド(何某) 石田 幸 雄
小アド(鬼茸) 野村 裕 基
立衆(茸) 中野区の子供達

後見 中村 修 一
内藤 連

(15:30頃)

能 鞍馬天狗 白頭

前シテ(山伏) 小島 英 明
後シテ(大天狗) 小島 史 織
子方(遮那王) 中野区の子供達
子方(花見稚児) 森 常 好
ワキ(東谷ノ僧) 梅村 昌 功
ワキツレ(従僧) 内藤 連
アイ(能力) 中村 修 一
アイ(木葉天狗)

笛 藤田 貴 寛
小鼓 鶴澤洋太郎
大鼓 原岡 一 之
太鼓 桜井 均

地謡 中森 貫 太
永島 充
佐久間二郎
桑田 貴 志

後見 奥川 恒 治
遠藤 喜 久

終演予定 17:00頃



小島英明
HIDEAKI KOJIMA

観世流シテ方。1970年生。観世喜之に師事。祖父は先々代喜之、伯父は先代喜之に師事した能楽師で、幼少より能に親しむ。なかのZEROでの公演は本年度で17回目。国内外の公演以外にも能楽普及のための講座を自ら多数企画・実施。著書に「恋する能楽」。学習院大学法学部卒業。凧風会主宰。重要無形文化財総合指定保持者(日本能楽協会会員)。(公社)観世九阜会所属。(公社)能楽協会会員。



野村萬斎
MANSAI NOMURA

和泉流狂言方。1966年生。野村万作(人間国宝)の長男。故六世野村万蔵及び父に師事。3歳で初舞台。国内外で狂言の普及を目指す一方、映画、舞台、TV等幅広いメディアで活躍。古典の技法を駆使した演出等、新しい演劇活動にも意欲的に取り組む。東京藝術大学音楽学部卒業。世田谷パブリックシアター芸術監督。ござる乃座主宰。重要無形文化財総合指定保持者(日本能楽協会会員)。(公社)能楽協会会員。

☑ 2023年 1月21日(土)14:00開演(13:15開場)

☑ なかのZERO 大ホール <東京都中野区中野2-9-7> ※JR・東京メトロ東西線 中野駅南口より徒歩8分

☑ チケット料金《全席指定・税込》[1階席] 5,600円 [2階席] 3,600円 ※未就学児入場不可

*ホールメイト会員は[1階席]5,100円 [2階席]3,300円 *小中学生は[1階席]4,600円 [2階席]2,600円

◎なかのZEROチケットセンター

電話 03-3382-9990(10:00~19:00) オンライン <https://nicesacademia.jp/>

◎チケットぴあ <https://pia.jp/>

◎イープラス <https://eplus.jp/>

なかのZEROチケットセンターはこちら



NAKANANO ZERO SHINSHUN NOH 2023

事前講座「能のてほどき」の御案内

本公演に先立ち、小島英明による講座「能のてほどき」を開催。
公演当日に使用予定の能面・能装束や映像を御覧頂きながら、能「鞍馬天狗」の見どころを解説します。

観て! 謡って! 体験!

日時: 2022年12月4日(日)開演10:30(開場10:00)、14:00(開場13:30)

会場: なかの芸能小劇場 <東京都中野区中野5-68-7>

※JR・東京メトロ東西線 中野駅北口より徒歩5分

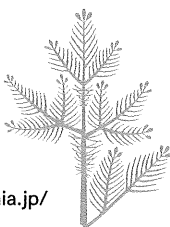
講師: 観世流能楽師 小島英明

料金: 一般1,000円・小中学生500円 <全席自由・税込> ※未就学児入場不可

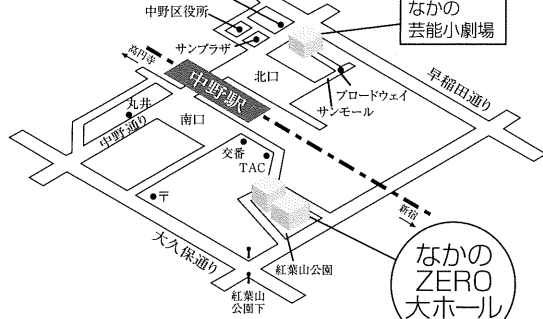
申込: なかのZEROチケットセンター

電話 03-3382-9990(10:00~19:00) オンライン <https://nicesacademia.jp/>

受付開始: 2022年9月25日(日)10:00~



MAP



※駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。